

2021年度
相愛大学大学院
音楽研究科 音楽専攻
修士課程

学生募集要項

Soai University Graduate School
OSAKA

目次

1. 教育研究上の理念・目的及び3つのポリシー	p.1
2. 入学試験等について	
①出願資格	p.2
②入学定員	p.3
③入試日程・試験会場	p.3
④試験時間割	p.3
⑤試験科目と判定方法	p.4
⑥試験内容	p.4
⑦受験上の諸注意について	p.5
⑧合否発表	p.5
3. 出願手続	
①出願期間	p.5
②入学検定料の納入方法	p.5
③出願書類	p.6
④出願先	p.6
⑤その他	p.6
4. 入学手続締切日及び学費・諸経費	
①学費・諸経費	p.6
②入学手続締切日	p.7
③個人成績の開示について	p.7
④過年度入試問題の閲覧について	p.7
5. カリキュラムについて	
①カリキュラム	p.8
②修了要件及び履修方法等	p.9
③履修モデル	p.9
6. 音楽研究科 音楽専攻 修士課程 指導教員	p.11
7. お問い合わせ	p.11
8. 入学試験：専門試験実技等課題	p.12

1. 教育研究上の理念・目的及び3つのポリシー

*** 教育研究上の理念**

相愛大学は大乗仏教経典『仏説無量寿経』に示された「當相敬愛」の精神、すなわち「他者を敬い愛するこころの徳」を建学の精神とし、音楽教育において明治末期より今日に至るまで、高度な音楽的技術の修得にとどまらず、宗教的情操を備え、感性豊かで優れた音楽家、音楽教育者、音楽研究者ならびに音楽文化と産業の振興に貢献できる人材を育成してきた。

相愛大学大学院音楽研究科では、この理念を継承しつつ、その真髄を究めるために、さらに高度な演奏技能・創作能力・研究能力を養い、同時にその技能・能力・知識を発揮するための教養を涵養し、多様性を帯びてきている音楽の諸相に対応し得る見識を養うことによって、音楽を幅広く総合的に捉えるための深い学識を授けることを教育研究上の理念とする。

*** 教育研究上の目的**

クラシック音楽について高度で深遠な技能と学識を有し、加えてその能力を活用し得る企画力と実践力を修得した高度の専門的職業人の養成を通して、社会的要請に即した国内外の芸術文化の進展に寄与することを目的とする。

*** アドミッションポリシー(入学者受入方針)**

相愛大学大学院音楽研究科は、音楽文化の水準を進展するための深遠な学識を究め、卓越した能力を持つ演奏家、作曲家、音楽研究家をめざすとともに、クラシック音楽に求められる多様な社会的要請に対応する意欲を持つ人材を受け入れる。

- 1) 音楽専攻声楽領域の履修を希望する場合は、入学選抜時に以下のことが確認された者に対して入学を許可する。声楽を主として音楽文化に貢献するために必要な知識と技能を有し、オペラ、歌曲など声楽のさらなる表現の探求に強い意志があること。
- 2) 音楽専攻鍵盤領域の履修を希望する場合は、入学選抜時に以下のことが確認された者に対して入学を許可する。鍵盤楽器を主として音楽文化に貢献するために必要な知識と技能を有し、ピアノを中心としてさらなる表現の探求に強い意志があること。
- 3) 音楽専攻器楽領域の履修を希望する場合は、入学選抜時に以下のことが確認された者に対して入学を許可する。器楽(管楽器、弦楽器、打楽器)を主として音楽文化に貢献するために必要な知識と技能を有し、オーケストラや室内楽、独奏などにおいてさらなる表現の探求に強い意志があること。
- 4) 音楽専攻作曲領域の履修を希望する場合は、入学選抜時に以下のことが確認された者に対して入学を許可する。作曲を通じて音楽文化に貢献する強い意志があり、新たな技術と表現を探求するために必要な素質と知識があること。
- 5) 音楽専攻音楽学領域の履修を希望する場合は、入学選抜時に以下のことが確認された者に対して入学を許可する。音楽研究家として音楽文化に貢献する強い意志があり、研究を進めるために必要な音楽史的見地と学術的考察力があること。

* カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施方針)

相愛大学大学院音楽研究科は、優れた演奏技能・創作能力・研究能力を有する演奏家、作曲家、音楽研究家であると同時に、その能力を活用する高度の専門性と応用力によって音楽文化の水準を維持・向上させ、加えて創意工夫を凝らした独創的且つ自立的な音楽活動並びに芸術文化を牽引できる人材の育成をめざし、課程に共通した授業科目及び学生個々の専門領域に応じた授業科目によって教育課程を編成し実施する。また、修士演奏、修士作品、修士論文制作のために必要な研究指導を行う。

* ディプロマポリシー(学位授与方針)

本学大学院に2年以上在籍して所定の授業科目30単位以上を修得し、且つ以下に示す能力を身に付け、研究の成果の審査及び試験に合格した学生に対して修士(音楽)の学位を授与する。

- 1) クラシック音楽の高度で深遠な技能や学識
- 2) クラシック音楽の専門性を活かした自立的音楽活動を展開する能力
- 3) 音楽の専門的表現を用いて芸術文化を牽引できる能力
- 4) 音楽におけるさまざまな領域の相互関連を理解し、多様な音楽的価値観に共感できる能力

2. 入学試験等について

①出願資格

音楽研究科音楽専攻(修士課程)への出願資格は、以下の各号の何れかに該当した者

- 1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者、又は2021年3月末日までに大学を卒業見込みの者
- 2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者、又は2021年3月末日までに学士の学位を授与される見込みの者
- 3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2021年3月末日までに修了見込みの者
- 4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は2021年3月末日までに修了見込みの者
- 5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は2021年3月末日までに修了見込みの者
- 6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、又は2021年3月末日までに修了見込みの者
- 7) 文部科学大臣が指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- 8) *2021年3月末日で大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得する者と、本学において認めた者
- 9) *本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本学入学前(2021年4月1日)までに22歳に達する者

※出願資格8)9)にて出願する場合は、事前に入学資格認定審査を行います。

申請書類の提出は各入試出願受付開始の2週間前まで(必着)となります。

②入学定員

試験	専攻名	領域	募集人員	入学定員
前期選抜試験	音楽専攻	声楽／鍵盤*／器楽**	6名	8名
後期選抜試験		作曲／音楽学	2名	

* 鍵盤領域はピアノ

** 器楽領域は、「8. 入学試験：専門試験実技等課題」(p.12)に記載される楽器を専門とする学生を受け入れます。

③入試日程・試験会場

試験	試験科目	試験日程	試験会場
前期選抜試験	専門試験、口頭試問 外国語試験、西洋音楽史	2020年9月26日(土)・9月27日(日)	相愛大学 南港学舎
後期選抜試験		2021年2月27日(土)・2月28日(日)	

④試験時間割

専門試験の集合時刻の詳細については、受験票送付時にお知らせします。

【前期】

2020年9月26日(土)－1日目－

研究領域 時間	声楽	鍵盤	器楽	作曲	音楽学
9:30～10:30	西洋音楽史				
10:50～11:50	外国語(英語)				

2020年9月27日(日)－2日目－

研究領域 時間	声楽	鍵盤	器楽	作曲	音楽学
10:00～	専門試験				専門試験(～11:30)
専門試験終了後	口頭試問				

※ 作曲領域は作曲実技試験を課しますが、試験内容は作品提出のため試験会場での試験は実施しません。

【後期】

2021年2月27日(土) - 1日目 -

時間 \ 研究領域	声楽	鍵盤	器楽	作曲	音楽学
10:00~	専門試験				専門試験(～11:30)
専門試験終了後	口頭試問				

※ 作曲領域は作曲実技試験を課しますが、試験内容は作品提出のため試験会場での試験は実施しません。

2021年2月28日(日) - 2日目 -

時間 \ 研究領域	声楽	鍵盤	器楽	作曲	音楽学
9:30～10:30	西洋音楽史				
10:50～11:50	外国語(英語)				

⑤ 試験科目と判定方法

専門試験	研究計画及び口頭試問	西洋音楽史	外国語(英語)試験	合計
300点	100点	100点	100点	600点

※ 各領域とも専門試験を重視し、他の試験科目も含めて総合的に判定しますが、専門試験以外の科目が一定基準に達しない場合は「不合格」と判定されます。

⑥ 試験内容

1) 専門試験

声楽、鍵盤、器楽領域を志望する者には演奏実技試験、作曲領域を志望する者には作曲実技試験(作品提出)、音楽学領域を志望する者には小論文試験を課します。

専門試験の実技課題は、「8. 入学試験：専門試験実技等課題」(p.12)を参照してください。

2) 研究計画(出願時に所定の書式により提出)及び口頭試問

あらかじめ提出された研究計画について試問します。これに加えて出願者の志望する領域における知識を問います。

3) 西洋音楽史

西洋音楽史における諸側面・諸問題について問います。

4) 外国語(英語)試験

読解力の試験を課します。「英和辞典」のみ持ち込み可。その他の辞典や、電子辞書等は認めません。また貸出もいたしません。

⑦受験上の諸注意について

- 1) 試験当日は午前8時30分に開門します。試験室(控室)へは、試験開始30分前から入室可能です。試験室等については、当日掲示で指示します。案内に従って入室してください。また試験室では、受験番号と同じ番号の席に着席してください。
- 2) 試験開始後、20分以上の遅刻者は当該科目を受験することができません。
- 3) 遅刻した場合は、入試課に申し出て指示を受けてください。
- 4) 受験の際、試験監督者または試験係員の指示に従ってください。
- 5) 受験票を忘れたり紛失された場合は、直ちに入試課に申し出て、再発行の手続きを取ってください。
- 6) 受験した科目は各科目の試験終了時間まで、退出することができません。
- 7) 指定の科目を1つでも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなします。
- 8) 当日必ず持参するものは、受験票、筆記用具(黒鉛筆、消しゴム)、時計(計算機能・英語・国語辞典の機能のついたものは不可)です。上履きは必要ありません。
※ 筆記用具・時計の貸し出しはできません。
- 9) 試験時に机の上に置けるものは、受験票、鉛筆、消しゴム、時計、眼鏡のみです。スマートフォン、携帯電話等の電源は入室の際に切っておいてください。
- 10) 不正行為をしたと認められた者は、合否判定から除外します。
- 11) 試験時間中、受験生以外は教室棟への立ち入りはできません。付き添いの方は、控室でお待ち願います。
- 12) 試験日前日の学内の見学(下見)は可能ですが、試験室への入室はできません。
- 13) 自家用車・タクシーでの学内への乗り入れは、ご遠慮願います。
- 14) 当日の服装については、特に指定はありません。

⑧合否発表

前期：2020年10月5日(月) 後期：2021年3月5日(金)

※合否結果は、合否発表日に速達郵便で通知します。なお、合格者には、入学手続書類を同封いたしますので、期日までに手続きを完了してください。

3. 出願手続

①出願期間

種別	検定料銀行 取扱開始日	*出願受付期間(×切日消印有効)
前期選抜試験	2020年9月1日(火)～	9月1日(火)～9月7日(月)
後期選抜試験	2021年2月12日(金)～	2月12日(金)～2月19日(金)

※窓口受付は入試課窓口開設日(土・日・祝及び本学の休日を除く)の10:00～16:00となります。

②入学検定料の納入方法

入学検定料 35,000円

所定の振込用紙により郵便局以外の金融機関の窓口から振り込んでください。

なお、現金自動支払機(ATM)による振り込みは受け付けません。

③出願書類

- 入学願書(A票) 写真票(B票)：2枚
受験票(C票) 受験曲目記入票(D票)
研究計画書(E票)^{*1} 履歴書(F票)^{*2}
成績証明書：出身大学発行
卒業(見込)証明書：出身大学発行 又は出願資格の該当者であることを証明できる書類*
*詳細は入試課へお問い合わせください
入学検定料振込通知書：大学院提出用(入学願書の裏面に貼付)
受験票返送用封筒：374円分切手貼付／受取住所、氏名等明記のこと
合否通知送付用封筒：540円分切手貼付／受取住所、氏名等明記のこと

^{*1}研究計画書

入学後、本学の研究科で行う研究のテーマ及び研究の概要(研究目的・研究方法・展望など)について記入してください。字数は1,500字程度とします。

^{*2}履歴書(下記項目について、可能な範囲で記入してください)

- 1) 学歴(高等学校卒業から記入)
- 2) 職歴(ない場合は「なし」と記入)
- 3) 音楽学習歴(師事した教員名、指導を受けた科目名や楽器名、受賞歴など)

④出願先

〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4-1
相愛大学 入試課(宛)

⑤その他

- ・すべての提出書類のうち、外国語で書かれた証明書、文書等がある場合は、必ず日本語訳を付してください。
- ・一旦提出された書類、検定料は、理由の如何にかかわらず返還いたしません。
- ・身体に障がいがあり、受験に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願前に入試課に申し出てください。
- ・提出書類に記入いただいた内容は、個人情報保護法に基づき、入試業務の目的以外には使用いたしません。

4. 入学手続締切日及び学費・諸経費

①学費・諸経費

		入学金	授業料	施設費	合計	年額
入学年次	前期	200,000 (100,000)	480,000	215,000	895,000 (795,000)	1,590,000 (1,490,000)
	後期	—	480,000	215,000	695,000	
2年次	前期	—	480,000	215,000	695,000	1,390,000
	後期	—	480,000	215,000	695,000	

注1) 学費・諸経費の他に、学生会費等諸費が必要です。

注2) 相愛大学の卒業生が入学する場合は、入学金は半額となります。()内金額。

注3) 学費・諸経費の他に、手数料、学外実習等の費用を別途徴収することがあります。

注4) 既納の入学金、授業料その他の費用は、いかなる事情があっても返還しません。

但し、入学手続きを完了した者が、2021年3月29日(月)12:00までに本学所定の「入学辞退届」を入試課に提出した場合に限り、入学金を除く既納の授業料等を返還します。

②入学手続締切日

入学を許可された者は、下記期日を厳守してください。なお合格者には入学手続き書類を同封いたしますので、期日までに手続きを完了してください。

種別	合否発表	入学金 納付期限	前期授業料 納付期限
前期選抜試験	2020年10月5日(月)	10月13日(火)	12月18日(金)
後期選抜試験	2021年3月5日(金)	3月12日(金)	3月29日(月)

③個人成績の開示について

本学では2021年度入試に関する個人成績について、次の方法により開示を行います。

- 1) 申請できる対象者 2021年度入試の受験生本人に限ります(個人情報保護法の観点から、代理人申請は認めません)。
- 2) 開示対象 2021年度の本学独自の入学試験が対象となります。
- 3) 開示内容 判定に使用した、受験生本人の科目別得点および総合点を開示します。
- 4) 申請受付期間 2021年5月6日(木)～2021年5月20日(木) [消印有効]
- 5) 申請・請求方法 申請の際には、申請する入試の受験票または合格通知が必要となります。その他必要な書類等については、入試課までお問い合わせください。

④過年度入試問題の閲覧について

入試課窓口(相愛大学 南港学舎)のみで閲覧可能です。閲覧ご希望の場合は、事前に入試課までご連絡ください。

相愛大学(南港学舎)入試課 10:00~16:00

TEL: 06-6612-5905

注)写真撮影、コピー、書き写しはできません。

*閲覧期間: 2020年8月3日(月)～2021年2月19日(金) なお、土・日・祝及び本学の休日は除く(入試課窓口開設日は事前にお問い合わせください)。

5. カリキュラムについて

①カリキュラム

[大学院音楽研究科音楽専攻]

科目区分	授業科目の名称	単位数			年次	形態	期間	履修条件	
		必修	選択	自由					
共通科目	西洋芸術音楽総合演習Ⅰ	1			1	演習	半期	[2単位以上]	
	西洋芸術音楽総合演習Ⅱ	1			1	演習	半期		
専門科目	専門特論科目	現代音楽特論		2		1	講義	半期	声楽領域を履修する者に限り、いずれかのみ履修可 声楽領域を履修する者に限り、いずれかのみ履修可 声楽・鍵盤・器楽・作曲の領域を履修する者は、 [16単位以上] 音楽学の領域を履修する者は、 [20単位以上]
		スコア・リーディング		2		1	講義	半期	
		楽書講読A		2		1	講義	半期	
		楽書講読B		2		1	講義	半期	
		音楽によるアウトリーチA		2		1	講義	半期	
		音楽によるアウトリーチB		2		2	講義	半期	
		音楽療法特論A		2		1	講義	半期	
		音楽療法特論B		2		1	講義	半期	
	専門演習科目	オペラ特別演習Ⅰ		2		1	演習	通年	
		声楽特別演習(歌曲・オラトリオ)Ⅰ		2		1	演習	通年	
		オペラ特別演習Ⅱ		2		2	演習	通年	
		声楽特別演習(歌曲・オラトリオ)Ⅱ		2		2	演習	通年	
		オーケストラ特別演習Ⅰ		2		1	演習	通年	
		オーケストラ特別演習Ⅱ		2		2	演習	通年	
		室内楽特別演習Ⅰ		2		1	演習	通年	
		室内楽特別演習Ⅱ		2		2	演習	通年	
		演奏理論特別演習Ⅰ		2		1	演習	通年	
		演奏理論特別演習Ⅱ		2		2	演習	通年	
		作品分析特別演習Ⅰ		4		1	演習	通年	
		作品分析特別演習Ⅱ		4		2	演習	通年	
西洋音楽史特別演習A		4		1	演習	通年			
西洋音楽史特別演習B		4		1	演習	通年			
専門研究科目	声楽専門実技Ⅰ		4		1	実技	通年		
	声楽専門実技Ⅱ		4		2	実技	通年		
	鍵盤専門実技Ⅰ		4		1	実技	通年		
	鍵盤専門実技Ⅱ		4		2	実技	通年		
	器楽専門実技Ⅰ		4		1	実技	通年		
	器楽専門実技Ⅱ		4		2	実技	通年		
	作曲専門実技Ⅰ		4		1	実技	通年		
	作曲専門実技Ⅱ		4		2	実技	通年		
	音楽学研究演習Ⅰ		4		1	演習	通年		
	音楽学研究演習Ⅱ		4		2	演習	通年		
	作品研究報告書制作(研究指導)	-	-	-	1~2	演習	通年		

② 修了要件及び履修方法等

[修了要件]

本学大学院に2年以上在学し、所定の授業科目30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、研究の成果の審査及び試験に合格すること。なお、各領域の研究の成果の審査及び試験は以下の通りとする。

- (ア) 声楽、鍵盤、器楽の領域を履修する者は、修士演奏の審査に合格した後、演奏曲についての口述による試験に合格すること。
- (イ) 作曲の領域を履修する者は、修士作品の審査に合格した後、発表した作品についての口述による試験に合格すること。
- (ウ) 音楽学の領域を履修する者は、修士論文の審査に合格した後、修士論文に関係のある分野についての口述または筆記試験に合格すること。

[履修方法]

- (ア) 必修科目として、『共通科目』の「西洋芸術音楽総合演習Ⅰ」「西洋芸術音楽総合演習Ⅱ」、及び『専門研究科目』より各学生が履修する領域の「実技Ⅰ」「実技Ⅱ」又は「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」(カリキュラム表記載上は選択必修科目)の計10単位を履修する。
- (イ) 声楽、鍵盤、器楽、作曲の領域を履修する者は、演奏又は発表する作品についての研究報告を取り纏めるため、選択必修科目として、『専門研究科目』の「作品研究報告書制作」の4単位を履修する。
- (ウ) その他、各学生のキャリアプラン等を考慮して、『専門科目』(「専門特論科目」群、「専門演習科目」群)から、声楽、鍵盤、器楽、作曲の領域を履修する者は16単位以上、音楽学領域を研究する者は20単位以上を履修する。

③ 履修モデル

(1) 演奏家(声楽領域を履修する学生の履修例)

30単位履修

		1年次	2年次
共通科目		(前期)西洋芸術音楽総合演習Ⅰ	
		(後期)西洋芸術音楽総合演習Ⅱ	
専門科目	専門特論科目	(前期)現代音楽特論	(前期)楽書講読A
		(後期)スコア・リーディング	(後期)楽書講読B
	専門演習科目	(通年)オペラ特別演習Ⅰ	(通年)オペラ特別演習Ⅱ
		(通年)演奏理論特別演習Ⅰ	(通年)演奏理論特別演習Ⅱ
専門研究科目		(通年)声楽専門実技Ⅰ	(通年)声楽専門実技Ⅱ
			(通年)作品研究報告書制作
		(研究指導) 1～2年次を通して研究指導教員から研究指導をうけ、その成果としての「修士演奏」を披露する。	

(2)ホール等の運営・企画会社(鍵盤領域を履修する学生の履修例)

30単位履修

		1年次	2年次
共通科目		(前期)西洋芸術音楽総合演習Ⅰ	
		(後期)西洋芸術音楽総合演習Ⅱ	
専門科目	専門特論科目	(前期)現代音楽特論	(前期)音楽によるアウトリーチB
		(後期)音楽によるアウトリーチA	(後期)音楽療法特論B
	専門演習科目	(通年)室内楽特別演習Ⅰ	(通年)室内楽特別演習Ⅱ
		(通年)演奏理論特別演習Ⅰ	(通年)演奏理論特別演習Ⅱ
専門研究科目		(通年)鍵盤専門実技Ⅰ	(通年)鍵盤専門実技Ⅱ
			(通年)作品研究報告書制作
		(研究指導) 1～2年次を通して研究指導教員から研究指導をうけ、その成果である「修士演奏」を披露する。	

(3)芸術文化等研究機関(音楽学領域を履修する学生の履修例)

30単位履修

		1年次	2年次
共通科目		(前期)西洋芸術音楽総合研究Ⅰ	
		(後期)西洋芸術音楽総合研究Ⅱ	
専門科目	専門特論科目	(前期)楽書講読A	(前期)現代音楽特論
		(後期)楽書講読B	(前期)音楽療法特論A
		(後期)音楽によるアウトリーチA	(後期)音楽療法特論B
	専門演習科目	(通年)西洋音楽史特別演習A	(通年)西洋音楽史特別演習B
専門研究科目		(通年)音楽学研究演習Ⅰ	(通年)音楽学研究演習Ⅱ
		(研究指導) 1～2年次を通して研究指導教員から研究指導をうけ、その成果である「修士論文」を制作する。	

6. 音楽研究科 音楽専攻 修士課程 指導教員

2020年5月現在

領域／クラス	教員氏名
声乐	泉 貴子／岡坊 久美子／米田 哲二／井岡 潤子／片桐 直樹／ 木澤 佐江子／児玉 祐子／畑田 弘美／馬場 清孝／福田 清美／ 松原 友
鍵盤	稲垣 聡／山本 英二／井上 麻紀／大谷 正和／岡本 麻子／ 北川 恵美／小坂 圭太／坂本 恵子／佐野 えり子／塩見 亮／ 积迦郡 洋介／田尻 洋一／中川 知保／長谷川 美穂子／ 服部 久美子／星 裕子／彌園 友子／宮下 直子／宮本 聖子／ 山口 博明
器楽／管楽器	清水 信貴／前田 昌宏／飯塚 一朗／竹林 秀憲／鈴木 豊人／ 清水 明／中根 庸介／首藤 元／岩田 瑞和子／早坂 宏明／ 向井 和久／岡本 哲／小西 元司／三宅 孝典／吉野 竜城／ 川浪 浩一
器楽／弦楽器	小栗 まち絵／田辺 良子／大谷 玲子／上森 祥平／岸邊 百百雄／ マウロ・イウラート／五十嵐 由紀子／池川 章子／佐藤 一紀／ 曾我部 千恵子／森田 玲子／竹内 晴夫／山本 由美子／斎藤 建寛／ 林 俊武／野田 千晶
器楽／打楽器	中谷 満／堀内 吉昌／宮本 妥子
作曲	松本 直祐樹／檜垣 智也／山根 明季子
音楽学	黒坂 俊昭／大谷 紀美子
その他の専門科目担当者 (指揮者)	尾高 忠明／円光寺 雅彦／梅田 俊明／小林 恵子
その他の専門科目担当者 (講義・演習)	石村 真紀／中村 滋延／有馬 純寿／石原 興子／松谷 葉子／ 若林 千春

7. お問い合わせ

相愛大学 入試課 (〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4-1)

☎ (06)6612-5905

✉ nyuushi@soai.ac.jp

URL : <https://www.soai.ac.jp/>

8. 入学試験：専門試験実技等課題

専門試験実技等課題

	課題	備考	
声楽	以下の課題1,2,3を演奏すること 1. 歌曲2曲 2. オペラアリアまたはオラトリオアリア2曲 3. W.A.Mozartの声楽作品1曲 計5曲(但し、2か国語以上にわたること)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題1について「イタリア歌曲集1,2,3,4(全音楽譜出版)」、「Arie antiche I, II, III (A.Parisotti編集、Ricordi出版)」の中におさめられているものは歌曲とみなす ・歌唱はすべて暗譜とする ・オペラアリアは原語、原調とするが特に慣例のあるものはそれによってもよい ・演奏順は任意とする ・時間の都合により演奏を一部省略、または指定する場合がある ・伴奏者は同伴のこと 	
ピアノ	以下の課題1,2,3を演奏すること 1. J.S.Bachの作品 2. 以下の作曲家の練習曲よりF.Chopinを含む任意の2曲 F.Chopin op.10またはop.25、F.Liszt、A.Scriabin、S.Rachmaninoff、C.Debussy 3. 古典派以降の任意の作品(複数曲可)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題1、2、3合わせて30分～40分で演奏のこと ・演奏順は任意とする ・繰り返しは任意とする ・暗譜で演奏すること(ただし、現代作品については別に定める) ・現代作品(原則として1945年以降)を選択の場合、暗譜については任意とする(ただし、譜めくりが必要な場合は各自で用意すること) ・出版譜、未出版譜の作品については問わないが、いずれの場合も楽譜の提出を求める場合がある ・内部奏法を含む作品は除くこと ・時間の都合により演奏を一部省略、または指定する場合がある 	
管楽器	フルート	以下の課題1,2,3を演奏すること 1. 課題曲 (1)または(2)を選択する (1)W.A.Mozart/フルート協奏曲第1番ト長調 K.313(カデンツァを含む) (2)W.A.Mozart/フルート協奏曲第2番ニ長調 K.314(カデンツァを含む) 2. 自由曲 任意の曲 3. オーケストラスタディ (1)L.v.Beethoven/レオノーレ序曲第3番 (2)A.L.Dvořák/交響曲第8番第4楽章 (3)M.Ravel/ダフニスとクロエ第2組曲より「パントマイム」	<ul style="list-style-type: none"> ・課題1、2については暗譜とする ・課題2については出願時に作曲者名や曲名、出版社名等を明記すること ・課題3については読譜可/楽譜は本学より受験票と同時に郵送する ・伴奏者は同伴のこと
	オーボエ	以下の課題1,2,3を演奏すること 1. 課題曲 W.A.Mozart/オーボエ協奏曲ハ長調 K.314(カデンツァを含む) 2. 自由曲 任意の曲 3. オーケストラスタディ (1)L.v.Beethoven/交響曲第9番より第2楽章 (2)P.Tchaikovsky/交響曲第4番より第2楽章 (3)M.Ravel/クーブランの墓よりプレリュード	<ul style="list-style-type: none"> ・課題1、2については暗譜とする ・課題2については出願時に作曲者名や曲名、出版社名等を明記すること ・課題3については読譜可/楽譜は本学より受験票と同時に郵送する ・伴奏者は同伴のこと
	クラリネット	以下の課題1,2,3を演奏すること 1. 課題曲 W.A.Mozart/クラリネット協奏曲イ長調K.622 2. 自由曲 任意の曲 3. オーケストラスタディ (1)L.v.Beethoven/交響曲第6番より1,2,3,5楽章 (2)J.Brahms/交響曲第1番より第2楽章(オリジナルin Aを半音下げてin Bで演奏) (3)G.Puccini/歌劇「トスカ」より第3幕「星は光りぬ」 (4)D.Schostakovich/交響曲第9番第3楽章	<ul style="list-style-type: none"> ・課題1、2については暗譜とする ・課題2については出願時に作曲者名や曲名、出版社名等を明記すること ・課題3については読譜可/楽譜は本学より受験票と同時に郵送する ・伴奏者は同伴のこと
	サクソフォン	以下の課題(1)、(2)、(3)のいずれかを選択し演奏すること (1)任意のソナタ全楽章 (2)任意の協奏曲全楽章 (3)上記(1)または(2)に準ずる楽曲全楽章	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏はすべて暗譜とする ・ソプラノ、アルト、テナー、バリトンなどいずれのサクソフォンでも受験可 ・演奏時間は20分程度とする ・複数の曲目を選択しても構わないがいずれも全曲演奏すること ・出願時に作曲者名と曲名、出版社名等を明記すること ・楽譜の提出を求める場合がある ・サクソフォンのためのオリジナル曲には限定しない ・伴奏者は同伴のこと

	課題	備考	
管楽器	ファゴット	以下の課題1,2,3を演奏すること 1. 課題曲 W.A.Mozart/ファゴット協奏曲 変ロ長調K.191 (カデンツァを含む) 2. 自由曲 任意の曲 3. オーケストラスタディ (1)W.A.Mozart /フィガロの結婚序曲 (2)L.v.Beethoven /交響曲第4番より第4楽章 (3)N.A.Rimsky-Korsakov / 交響詩「シェエラザード」より第2楽章	・課題1,2については暗譜とする ・課題2については出願時に作曲者名や曲名、出版社名等を明記すること ・課題3については読譜可/楽譜は本学より受験票と同時に郵送する ・伴奏者は同伴のこと
	ホルン	以下の課題1,2を演奏すること 1. 課題曲 R.Strauss /ホルン協奏曲第1番変ホ長調作品11 2. オーケストラスタディ (1)L.v.Beethoven /交響曲第3番より第3楽章 (2)L.v.Beethoven /交響曲第8番より第3楽章 (3)L.v.Beethoven /交響曲第9番より第3楽章 (4)P.Tchaikovsky /交響曲第5番より第2楽章	・課題2については読譜可/楽譜は本学より受験票と同時に郵送する (1)(2)は上下吹き 選択 (3)(4)は共通課題
	トランペット	以下の課題1,2,3を演奏すること 1. 課題曲 F.J.Haydn/トランペット協奏曲変ホ長調第1、2楽章(カデンツァは不要) ※任意の版で可、Bb管で演奏すること 2. 自由曲 任意の曲(10分程度) 3. オーケストラスタディ ※以下の課題から当日指定された場所を演奏する (EDITIONPETERS: ORCHESTERPROBESPIELより出題) (1)L.v.Beethoven/レオノーレ序曲2番・3番 (2)G.Mahler/交響曲第5番 (3)M.Ravel/ピアノ協奏曲ト長調 (4)G.Bizet/歌劇「カルメン」 (5)M.P.Mussorgsky/組曲「展覧会の絵」 (6)I.F.Stravinsky/ペトリエーシュカ	・課題1,2については暗譜とする ・課題2については出願時に作曲者名や曲名、出版社名等を明記すること ・課題3については読譜可/楽譜は本学より受験票と同時に郵送する ・伴奏者は同伴のこと
	トロンボーン	以下の課題1,2を演奏すること 1. 課題曲 [テナートロンボーン] F.David /協奏曲変ホ長調 全楽章 [バストロンボーン] F.David /協奏曲変ロ長調 全楽章 2. オーケストラスタディ [テナートロンボーン] (1)M.Ravel /バレエ音楽「ボレロ」 (2)J.F.Wagner /楽劇「ワルキューレ」より 「ワルキューレの騎行」 (3)G.Rossini /歌劇「ウィリアムテル」より序曲 (4)C.Saint-Saëns /交響曲第3番より第2楽章 [バストロンボーン] (1)L.v.Beethoven /交響曲第9番より第4楽章 (2)J.F.Wagner /楽劇「ワルキューレ」より 「ワルキューレの騎行」 (3)G.Rossini /歌劇「ウィリアムテル」より序曲 (4)J.Brahms /交響曲第1番より第4楽章	・課題1については暗譜とする ・課題2については読譜可/楽譜は本学より受験票と同時に郵送する ・伴奏者は同伴のこと
	ユーフォニアム	以下の課題1,2を演奏すること 1. 課題曲 ・J.Horowitz /ユーフォニアム協奏曲(全楽章) 2. オーケストラスタディ (1)R.Strauss /交響詩「英雄の生涯」より テノールテューバのパート (2)G.Mahler /交響曲第7番より第1楽章 テノールホルンのパート (3)G.Holst /組曲「惑星」より「火星」「木星」 「天王星」テノールテューバのパート (4)M.Mussorgsky /組曲「展覧会の絵」より 「ヴィドロ」のソロパート	・課題1については暗譜とする ・課題2については読譜可/楽譜は本学より受験票と同時に郵送する ・伴奏者は同伴のこと

	課題	備考
管楽器	チューバ 以下の課題1,2を演奏すること 1. 課題曲 P.Hindemith / チューバの為のソナタ 全楽章 2. オーケストラスタディ (1)O.Respighi / ローマの噴水 (2)J.F.Wagner / 楽劇ワルキューレより 「ワルキューレの騎行」 (3)S.Prokofev / 交響曲第5番 (4)P.Tchaikovsky / 大序曲1812年 (5)R.Strauss / オペラ 薔薇の騎士	・課題1については暗譜とする ・課題2については読譜可/楽譜は本学より受験票と同時に郵送する ・伴奏者は同伴のこと
弦楽器	ヴァイオリン 以下の課題1,2を演奏すること 1. 課題曲 ((1)と(2)の両方を演奏する) (1)N.Paganini/24Caprices op.1より任意の1曲 (2)J.S.Bach/任意の無伴奏ヴァイオリンソナタより 第1,2楽章、またはシャコンヌ 2. 自由曲 任意のヴァイオリン協奏曲より第1楽章 (カデンツァを含む)	・演奏はすべて暗譜とする ・繰り返しはなし ・伴奏者は同伴のこと
	ヴィオラ 以下の課題を演奏すること 課題曲 (1)M.Reger/任意の無伴奏ヴィオラ組曲より 第1,2楽章 (2)C.Stamitz/ヴィオラ協奏曲ニ長調全楽章 (カデンツァを含む)	・演奏はすべて暗譜とする ・繰り返しはなし ・伴奏者は同伴のこと
	チェロ 以下の課題1,2を演奏すること 1. 課題曲 J.S.Bach/無伴奏チェロ組曲第3,4,5,6番より任意のプレリュード 2. 自由曲 古典派以降の任意のチェロ協奏曲より第1楽章または終楽章(カデンツァを含む)	・演奏はすべて暗譜とする ・繰り返しはなし ・伴奏者は同伴のこと
	コントラバス 以下の課題を演奏すること 課題曲 S.Koussevitzky / コントラバス協奏曲 嬰へ短調 op.3 全楽章	・演奏はすべて暗譜とする ・伴奏者は同伴のこと
	ハープ F.J.Naderman, M.Tournier, M.Grandjany の作品よりそれぞれ1曲ずつ選んで15分以上のプログラムを組む	・演奏はすべて暗譜とする
打楽器	以下の課題1,2,3を演奏すること 1. 課題曲 (1)小太鼓 H.Knauer/KleineTrommelSchuleより No25[出版社/Leduc] (2)マリンバ J.S.Bach/無伴奏チェロ組曲第1番ト長調 BWV1007より任意の2曲(繰り返しなし、オクターブ上で弾いてもよい) ※[版については自由とする] (3)ティンパニ Elliott Carter/Eightpiecesより任意の1曲 2. 自由曲 10分以内の任意の曲(複数曲でもよい) (マルチパーカッション・ティンパニ・鍵盤楽器・小太鼓など) 3. オーケストラスタディ (下記(1)~(4)の各演奏箇所は当日会場で指定) (1)小太鼓 M.Ravel/ボレロ (2)鍵盤楽器(グロッケン) P.I.Tchaikovsky/組曲「眠りの森の美女」より 第5番「ワルツ」 (3)鍵盤楽器(シロフォン) D.Shostakovich/交響曲第5番第3楽章 (4)ティンパニ L.v.Beethoven/交響曲第7番第1楽章	・マリンバ、シロフォン、グロッケン、ティンパニは本学で用意する ・マリンバはY.M.6000かコオロギUM3000CFのいずれかを選択し、出願時に明記すること ・小太鼓は本学で用意する(持ち込みも可能) ・セッティング図と借用希望楽器を受験曲目記入票の裏面に記入すること ・各自で用意できる楽器は持って来てもよい ・楽譜は見てもよい ・20分間の練習あり ・課題3の楽譜は本学より受験票と同時に郵送する ・伴奏者は同伴のこと
作曲	自作曲2曲の楽譜を提出すること	・編成は問わないが、提出する自作曲の1曲以上は、研究計画書に関連する曲であること ・手書き、コンピュータ浄書は問わない ・録音、解説など自作曲の理解に必要と思われる資料は、出願時に提出すること
音楽学	筆記試験：西洋芸術音楽に関する小論文(90分)	・課題は当日指定、字数は自由